

2026 年 9 月 16 日

トビラシステムズ株式会社

【敬老の日アンケート調査】50 代以上の約 8 割が SNS を利用 SNS 型投資・ロマンス詐欺「手口まで知っている」は 3 割

～8 割がネット広告に「ストレス」、広告ブロックアプリを使いたい人が 7 割超～

トビラシステムズ株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：明田 篤、証券コード：4441、以下「トビラシステムズ」）は、2026 年 9 月 21 日の「敬老の日」を前に、50 代以上の人を対象に、中高年層で被害が多発する SNS 型投資・ロマンス詐欺の認知度や SNS の利用状況、インターネット広告に対する意識などについて調査しました。

また、詐欺被害につながる可能性のあるインターネット広告への対策についてもご紹介します。

敬老の日をきっかけに、家族でスマートフォンの利用や詐欺対策について話し合う機会にお役立てください。

<調査サマリー>

- SNS 型詐欺「名前は聞いたことがある」は 6 割近くも、「手口まで知っている」は 3 割
- 50 代以上の約 8 割が SNS を日常的に利用、よく使う SNS は「LINE」や「YouTube」
- 27%が「不快なネット広告」、22%が「知らない人からの DM」を経験
- 8 割がスマホのネット広告にストレス、7 割超が広告を非表示にするアプリを「使いたい」

■50 代以上で深刻な SNS 型投資詐欺の被害

警察庁の発表によると、令和 8 年上半期における特殊詐欺被害額は 1,816.2 億円（前年同期比 +618.8 億円）で、その 4 割を占めているのが SNS 型投資詐欺です。

令和 8 年上半期における SNS 型投資詐欺の被害額は約 780 億円で、前年同期比で約 450 億円増加しています。特に 50～70 代において被害が深刻化しており、被害額は 60 代が最多となっています。

SNS 型投資詐欺被害における当初接触手段は「バナー等広告」が最多となっています。スマートフォン利用時には、SNS やインターネット上に表示される不審な広告をきっかけとした詐欺被害に注意が必要です。

■50 代以上の SNS 型詐欺の認知度・SNS の利用実態

50 代以上の人を対象に、SNS 型投資・ロマンス詐欺の認知度、SNS の利用状況や経験したことのあるトラブル、インターネット広告に対する意識などについてアンケート調査を行いました。

【調査概要】

調査実施会社：トビラシシステムズ株式会社

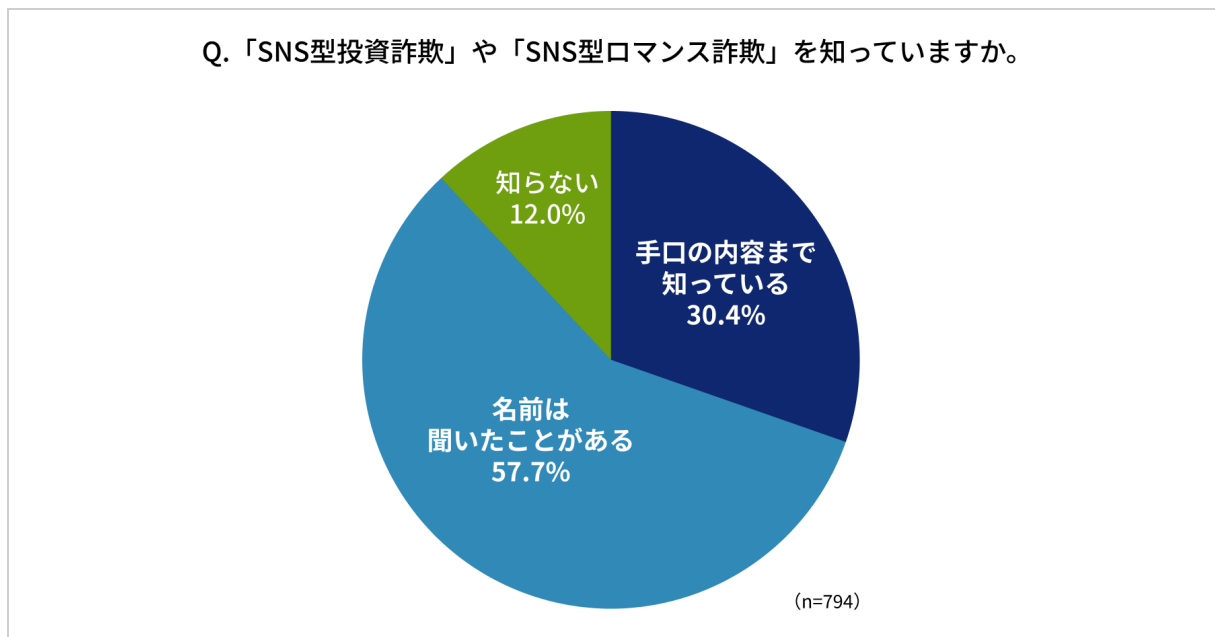
実施期間：2026 年 9 月 4 日

対象：スマートフォンを保有する全国の 50 歳以上の男女

有効回答数：794

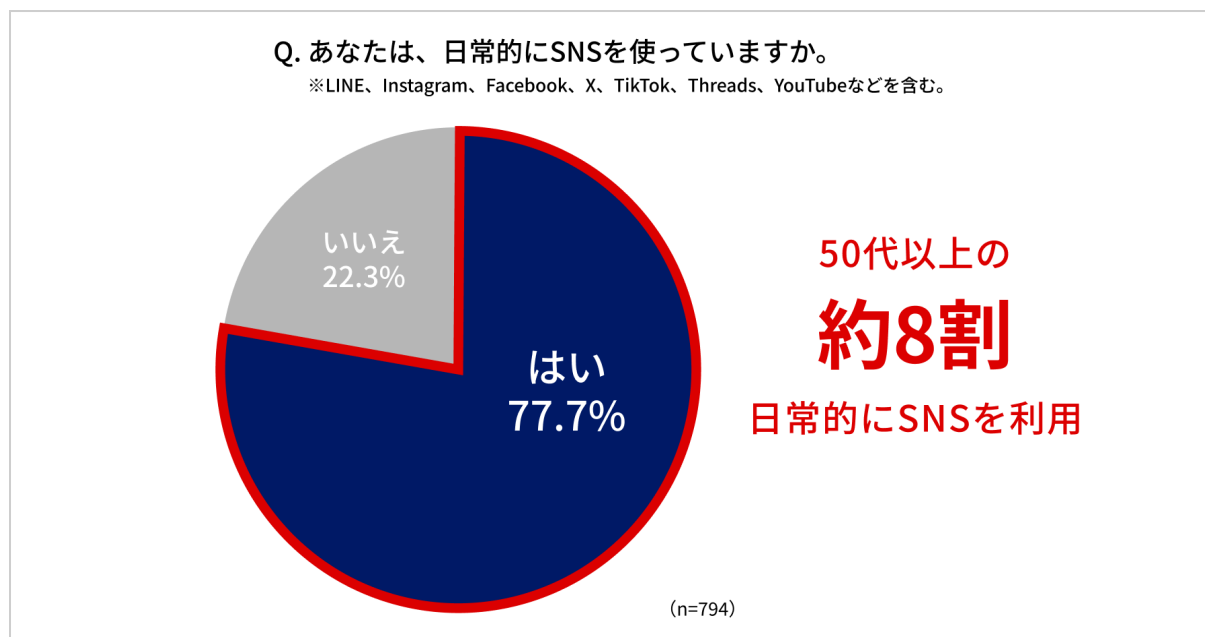
調査方法：インターネット調査（Surveroid を利用）<https://surveroid.jp/>

○SNS 型詐欺「聞いたことがある」は 6 割近くも、手口の認知は 3 割



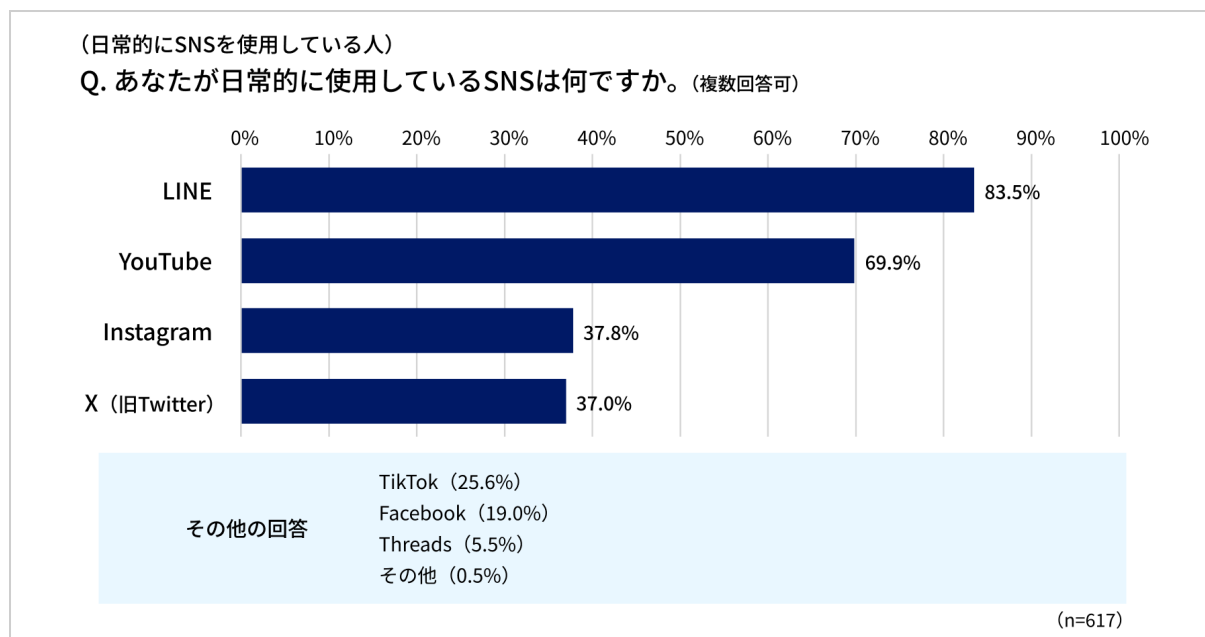
50 代以上の人に、SNS 型投資詐欺や SNS 型ロマンス詐欺を知っているか聞いたところ、「手口の内容まで知っている」と回答した人が 30.4%、「名前は聞いたことがある」と回答した人が 57.7%でした。「手口の内容まで知っている」「名前は聞いたことがある」を合わせると認知は 9 割近いものの、具体的な手口まで知っている人は 3 割にとどまります。SNS 型詐欺の被害が多い 50 代以上において、具体的な手口の認知や理解の促進が重要と考えられます。

○50 代以上の約 8 割が SNS を日常的に利用



日常的に SNS を使用しているか聞いたところ、77.7%の人が「はい」と回答しました。50 代以上の約 8 割が日常的に SNS を使用していることから、中高年層にも SNS の利用が広がっていることがわかります。

○SNS を使う 50 代以上の約 8 割が「LINE」を利用

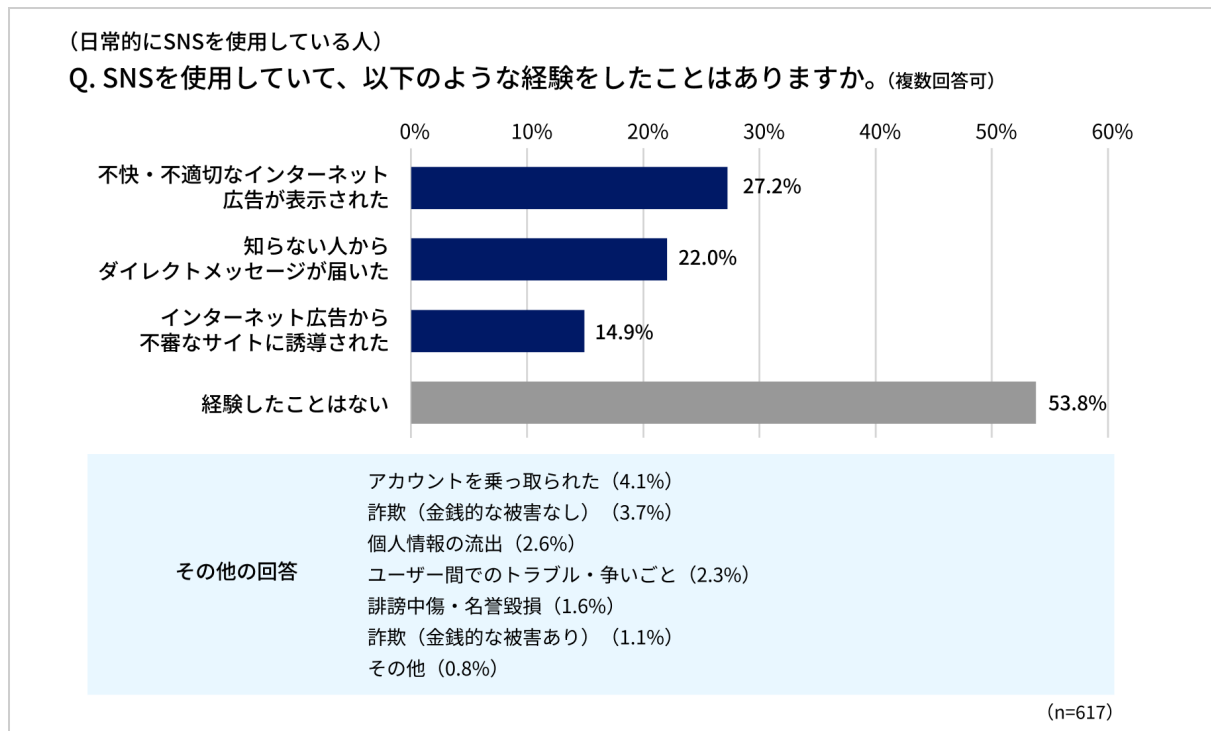


日常的に SNS を使うと回答した人に対して、使用している SNS の種類について聞いたところ、最も多かったのは「LINE」で、83.5%が使用していることがわかりました。

次いで多かったのは「YouTube」で、69.9%が使用していることがわかりました。

「Instagram」や「X（旧 Twitter）」を使用していると回答した人も、それぞれ 4 割近くとなりました。

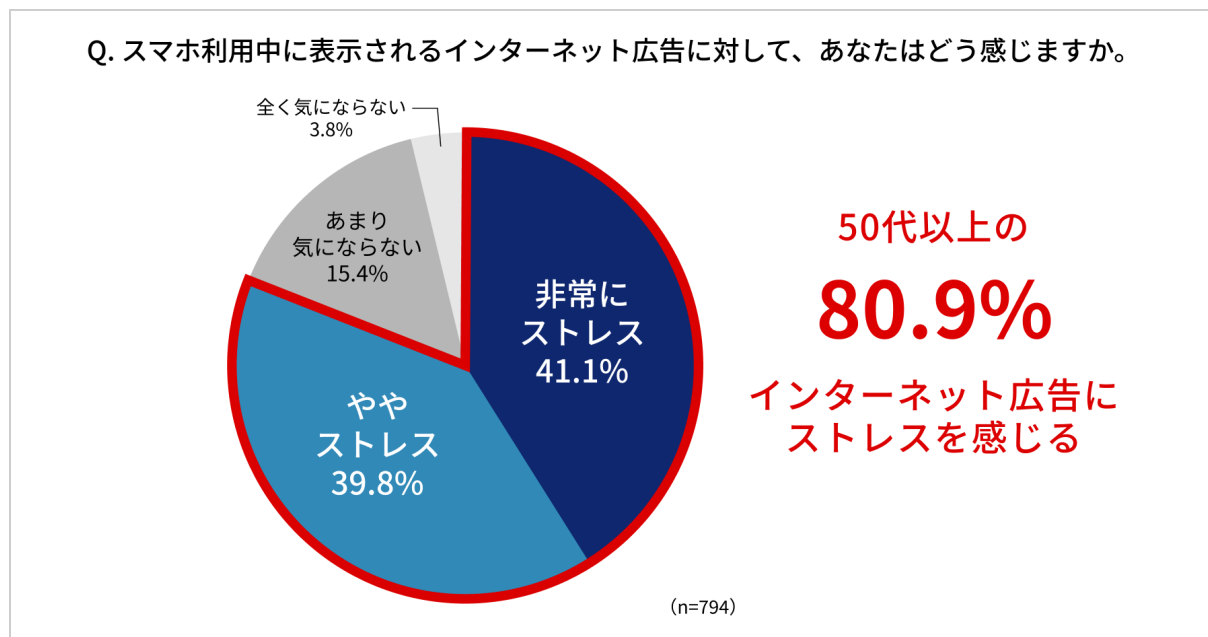
○不快なインターネット広告が表示された経験がある人が約 3 割



SNS を使用していて、経験したことがあるトラブルや危険などについて聞いたところ、53.8%は「経験したことはない」と回答しました。一方で、「不快・不適切なインターネット広告が表示された」経験がある人は 27.2%に上りました。また、「インターネット広告から不審なサイトに誘導された」と回答した人が約 15%で、インターネット広告をきっかけに不快感や危険を感じた人が一定数いることがわかりました。

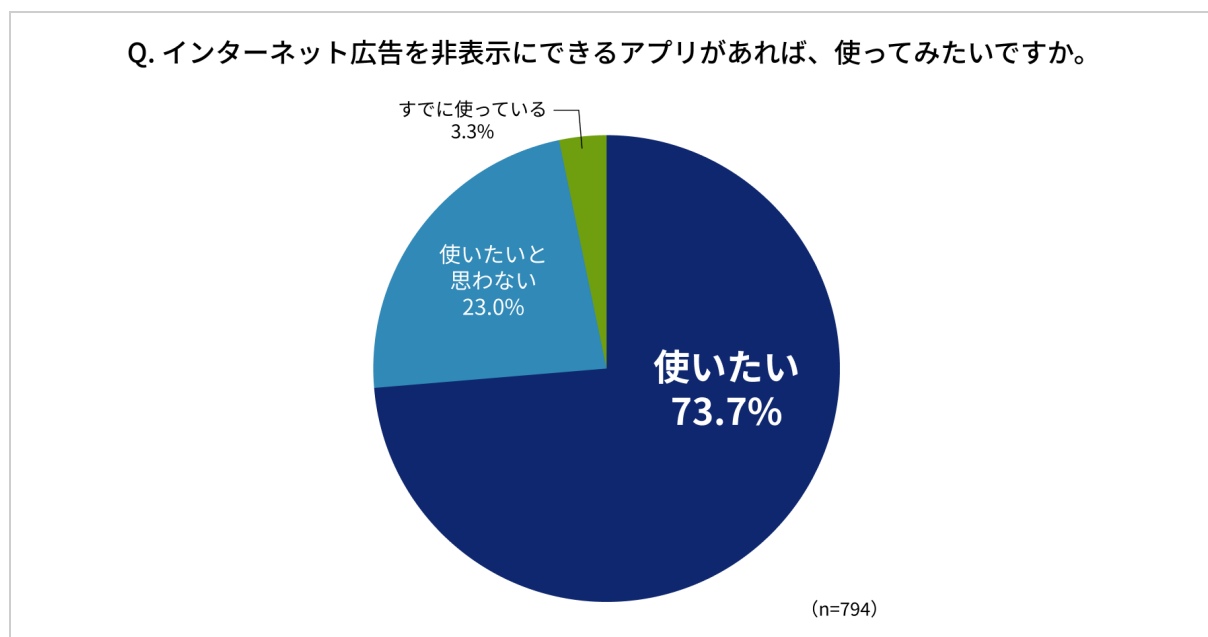
また、「知らない人からダイレクトメッセージが届いた」と回答した人が 22.0%となりました。SNS 型ロマンス詐欺では、最初の接触手段としてダイレクトメッセージが使われるケースが 9 割となっており、見知らぬ人から届くダイレクトメッセージにも注意が必要です。

○8 割がスマホのインターネット広告にストレス



スマートフォン利用中に表示されるインターネット広告に対するストレスについて聞いたところ、「非常にストレス」と回答した人が 41.1%、「ややストレス」と回答した人が 39.8%で、合計で 80.9%がインターネット広告にストレスを感じていることがわかりました。

○7 割がインターネット広告を非表示にするアプリを使いたい



インターネット広告を非表示にできるアプリを使ってみたいか聞いたところ、73.7%が「使ってみたい」と回答しました。一方で、「すでに使っている」と回答した人は3.3%にとどまりました。

インターネット広告にストレスを感じている人が8割に上る一方、広告を非表示にするアプリをすでに利用している人はわずかで、7割超が「使ってみたい」と回答したことから、広告ブロックアプリに対する潜在的なニーズがあることがうかがえます。

■調査結果まとめ

○50代以上の約8割がSNSを利用、一方でSNS型詐欺の「手口まで知っている」人は3割

50代以上の77.7%が日常的にSNSを利用しており、「LINE」や「YouTube」を中心としたSNSの利用が中高年層にも浸透していることがわかりました。一方で、SNS型投資詐欺やSNS型ロマンス詐欺について「手口の内容まで知っている」と回答した人は30.4%にとどまりました。SNSを利用する機会が広がる中、中高年層でSNS型詐欺の被害が増えていることから、具体的な手口まで理解し対策を行うことが重要と考えられます。

○約15%が「広告から不審サイトへの誘導」、22%が「知らない人からのDM」を経験

SNSを利用する50代以上の14.9%が「インターネット広告から不審なサイトに誘導された」、22.0%が「知らない人からダイレクトメッセージが届いた」と回答しました。SNS型投資詐欺ではバナー広告、SNS型ロマンス詐欺ではダイレクトメッセージが被害の入り口となるケースが多い中、日常的なSNS利用の中で詐欺につながる接点に遭遇した経験がある人が一定数いることがわかります。

○8割がネット広告にストレス、7割超が広告を非表示にするアプリを「使いたい」

スマートフォン利用中のインターネット広告について、80.9%がストレスを感じ、73.7%が広告を非表示にするアプリを「使ってみたい」と回答しました。広告を非表示にするアプリを活用し、インターネット広告との接触機会を減らすことで、SNS型詐欺への対策のみならず、快適なインターネット利用にもつながる可能性があります。

<参考資料>

特殊詐欺の認知・検挙状況等（令和8年上半期・暫定値）について（警察庁）

https://www.npa.go.jp/bureau/criminal/souni/tokusyusagi/sagi_keihatsu2026_teisei.pdf

■広告ブロックアプリの活用

SNS 型詐欺の被害の入り口となりやすいインターネット上の広告対策として、広告ブロックアプリの活用が有効です。

トビラシステムズの広告ブロックアプリ「280blocker」は、Web 上の広告をブロックし、快適な Web ブラウジングを実現するアプリです。App Store において日本で最も多くダウンロードされた有料アプリを表彰する「トップ有料アプリランキング」では、2023 年～2025 年の 3 年連続で 1 位を獲得し、多くのユーザーから支持されています。

iOS の場合は「ファミリー共有」、Android の場合は「Google Play ファミリー ライブラリ」を使用することで、家族でアプリを共有することができます。

なお、iOS の場合は「アプリを贈る」機能で、アプリをギフトとして贈ることもできます。

敬老の日、大切な人の安全なスマートフォン利用のために、ぜひ「280blocker」をご活用ください。

「280blocker」公式サイト：

<https://280blocker.net/>

■トビラシステムズについて



テクノロジーで社会課題の解決を目指し、特殊詐欺やフィッシング詐欺、グレーゾーン犯罪撲滅のためのサービスを提供しています。詐欺電話・詐欺 SMS 等の情報を収集・調査してデータベースを構築し、自動でフィルタリングする「迷惑情報フィルタサービス」は、固定電話、モバイル、ビジネス向けに展開し月間約 1,500 万人にご利用いただいています。

<会社概要>

会社名：トビラシステムズ株式会社

代表者：代表取締役社長 明田 篤

証券コード：4441（東証スタンダード市場）

設立：2006 年 12 月 1 日

所在地：愛知県名古屋市中区錦 2-5-12 パシフィックスクエア名古屋錦 7F

公式サイト：<https://tobila.com/>

＜本件に関する報道関係のお問い合わせ先＞

トビラシステムズ株式会社 広報担当

電話番号：050-3646-6670（直通）

お問い合わせフォーム：<https://tobila.com/contact/>